

■ 環境にやさしい愛媛づくりを目指して

～自然と人が共生する環境の保全と創造～

はじめに

愛媛県は、温暖な気候に恵まれ、多島美を誇る瀬戸内海や、西日本最高峰の石鎚山、リアス式海岸の宇和海等の優れた自然環境や豊富な動植物に恵まれています。

心豊かで快適な社会生活を営んでいくためには、私たちに様々な恵みと安らぎをもたらしてくれる、優れた自然の恩恵をいつまでも享受できるよう、人間の手で創造できない地形や大気、水、土壌はもちろん多種多様な生物たちと共存共栄が図れるような、自然と人間との良好な関係を築いていかなければなりません。

このため、自然環境に対する人々の関心を高め、その保全、回復、創出に県民を挙げて取り組むとともに、貴重な野生生物を保護・管理し、健全な生態系を維持して、自然と人間との共生を図っていくことが必要となっています。

健全で恵み豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくため、本県の環境保全のシンボルである瀬戸内海や宇和海等の豊かで美しい環境の保全・創造に努めるとともに、自然の生態系に配慮した公共工事の推進、野生生物等の保護対策に取り組むことが重要な課題となっています。

地域の環境との調和に配慮した基盤整備を進めるにあたっては、計画の構想段階から生態系への影響等地域の環境特性を十分把握したうえで、自然のしくみを理解し、自然との交流を促進し、自然を分かち合う視点から自然にやさしい工事手法・復元手法等、自然環境に十分に配慮した積極的な取り組みが求められています。

また、近年、本県においても自然環境に配慮した公共工事等が実施されており、こうした技術や工法、考え方を普及啓発することが重要となっていることから、今回、自然環境に配慮した事例や参考文献を集大成した手引きを作成しました。

この手引書は、自然と共生する社会を実現するために、何を改め、何をすべきか。人々がともに協力し合って、環境を保全し、改善する行動を継続していくために、何が必要なのか等、環境に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、これからのまちづくりの一助にしてもらうことを目的に作成したものです。

今後、県や市町における各種の公共事業を実施していく際に、この手引書を参考にして、積極的に環境にやさしい公共事業に取り組まれることを期待しています。

また、開発事業に携わる事業者の皆様におかれましても、この手引書を参考にして、環境にやさしい愛媛県となるよう、積極的な環境配慮に取り組んでいただきたいと考えています。

平成17年3月

愛媛県県民環境部部長 石川 勝行